

市報 取り戻そう、ふるさと石巻

3.15
MARCH.2020
復興特集号

いしのまき



竹灯籠 柔らかかにほのかに



竹灯籠の柔らかな光が幻想的な世界に導く「竹こもれびナイト2020」が2月15日、かわまち交流センターで開かれました。ハート形を中心に計1,000基の竹灯籠が夕暮れの館内外を温かく包みました。滞在型観光の促進に向け、石巻専修大学の庄子ゼミが石巻市などと連携して企画。スタンプラリーや竹スピーカー作りのワークショップなどもありました。

東京2020オリンピック聖火リレーが石巻に

「Hope Lights Our Way -希望の道を、つなごう。」のコンセプトの下、6月20日(土)に、東京2020オリンピック聖火リレーが石巻にやってきます。

石巻駅前から出発する中心市街地ルートと総合運動公園から出発する二つの区間を聖火ランナーが駆け抜け、さらに、特殊区間では、孫兵衛船を披露しながらの聖火リレーも行われます。

全世界の皆さんの温かいご支援への感謝の気持ちと復興している姿を全世界に発信できるよう熱い声援を送りましょう!!

☎ 東京オリンピック・パラリンピック推進室(内線4250)

第3区間



JR石巻駅前

国道398号線～アイトピア通り

NTT東日本石巻門脇ビル前～いしのまき元気いちば前

特殊区間

中瀬公園～内海橋前



かわまち交流センター

第4区間



総合運動公園駐車場

国道398号線～新小堤・台線

総合運動公園内



市民球場前

※聖火リレーは、第1区間の気仙沼市、第2区間の南三陸町を通り、石巻市にやってきます。

雄勝中心部地区拠点エリア整備事業

豊かな海を見渡せる雄勝地区中心部の高台に整備を進めている雄勝地域拠点エリア(愛称 硯上の里おがつ)施設のうち、雄勝地域の特産品をメインとした物産販売や飲食店などが入店する観光物産交流館(愛称 おがつ・たなこや)と全国でも珍しい硯の展示施設である雄勝硯伝統産業会館が4月中旬に開館します。

また、令和2年度内に体育施設(体育館、グラウンド、艇庫)が完成する予定です。

※愛称 硯上の里おがつ:雄勝は国内の代表的な硯の産地であり、硯工芸は雄勝地区の伝統産業です。その硯を冠した雄勝地区の山名「硯上山」から命名

※愛称 おがつ・たなこや:雄勝で震災後から地元の方々や観光客、ボランティア活動などを支え続け、慣れ親しまれてきた「仮設商店街おがつ店こ屋街」から命名

☎ 半島拠点整備推進課(内線5316)

雄勝総合支所地域振興課 ☎57-2111



観光物産交流館・雄勝硯伝統産業会館

鮎川浜地区拠点エリア整備事業



鮎川中心部地区(令和2年1月時点)

鮎川浜に整備されている牡鹿地域拠点エリア(愛称 ホエールタウンおしか)は、昨年10月に観光物産交流施設(愛称 cottu(こっつ))と環境省が整備した牡鹿半島ビジターセンターがオープンし、「おしかホエールランド」は4月にオープンを予定しています。

ビジターセンターでは、季節の見どころやアクティビティ情報を発信するほか、クラフト体験やセミナーなどさまざまなイベントが開催されており、家族で楽しめる施設となっています。ぜひお越しください。

☎ 半島拠点整備推進課(内線5316)
 牡鹿総合支所地域振興課 ☎45-2111
 牡鹿半島ビジターセンター ☎24-6912

おしかホエールランド内観イメージ
 ※完成イメージ図は変更となる場合があります。



なりぎり☆
ハンター体験



牡鹿半島の魅力が再発見された民俗誌セミナー



ジビエのお話(実演付き)



なりぎり浜の猫



シカの革を使用したクラフト体験

北上にっこり地区拠点エリア整備事業

にっこりサンパーク周辺に、造成した住宅団地と一体となった新たな拠点として、小学校、総合支所、こども園などを集約した公共公益施設の建設を進めており、4月中旬に供用を開始します。

なお、4月からの公民館の利用の受け付けは開始しています。



【北上公民館】

施設概要	
交流ホール	定員100人
和室	24.5畳
調理室	調理台5台
会議室(2室)	定員12人
多目的室	定員19人

※詳しくは問い合わせください。

☎ 北上公民館 ☎67-2712

☎ 北上総合支所地域振興課 ☎67-2111

北上総合支所等複合施設



北上小学校



「石巻駅前にぎわい交流広場」供用開始

市役所北側の石巻駅前にぎわい交流広場(面積約1,380平方メートル)は、市民や市民活動団体などのイベントに使用することができ、災害時は食料や支援物資の提供場所として活用され、かまどとして使用できるベンチやマンホールトイレもあります。

また、入り口にセンサー式音声案内を備えた公衆用トイレには、車いすやオストメイトにも対応できる多目的トイレもあり、思いやり駐車スペースも1台分あります。

図 都市計画課(内線5633)



にぎわい交流広場



かまどとして利用できるベンチ



音声案内を備えた公衆用トイレ



思いやり駐車スペース

ささえあいセンター愛称募集中

「ささえあいセンター」(5月末オープン予定)が、より多くの皆さんに愛され、親しみを持っていただけるよう愛称を募集します。

応募資格 市内在住または市内に通勤・通学している方

応募方法 応募用紙を窓口またはホームページから取得し、直接、郵送、FAXまたはEメールでご応募ください。(1人1点まで)

応募期限 3月31日(火) 必着

記念品 採用者には賞状・記念品を贈呈します。

※詳しくはホームページをご覧ください。

問・図 〒986-8501(住所不要) 包括ケア推進室(内線2573)

FAX 92-5791

✉ iscareprm@city.ishinomaki.lg.jp

～ささえあいセンターとは～

市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアを推進する中核的な拠点として、市立病院南側に建設中です。

次の5つの機能を発揮するため、さまざまな事業を展開していきます。

- ① 医療・介護連携
- ② 支え合う地域づくり
- ③ 包括的な相談支援
- ④ 子育て支援
- ⑤ 次世代育成

※ささえあいセンターの利用などについては、改めて市報に掲載する予定です。



全面通行止めのお知らせ

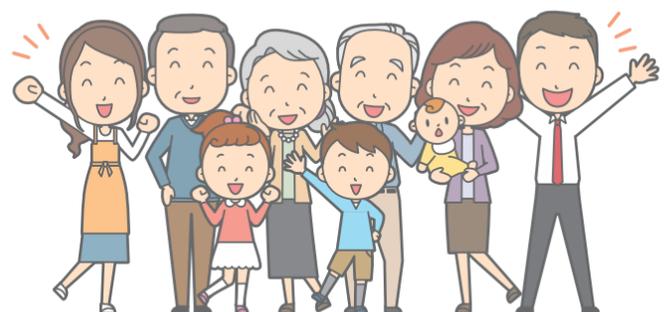
JR石巻線・小川町踏切拡幅工事に伴い、長期間の全面通行止めが実施されます。

工事期間中は、**歩行者、自転車および車両などの全てが通行できなくなります。**

ご理解とご協力をお願いします。

期 間 4月1日(水)午後2時～12月上旬(予定)

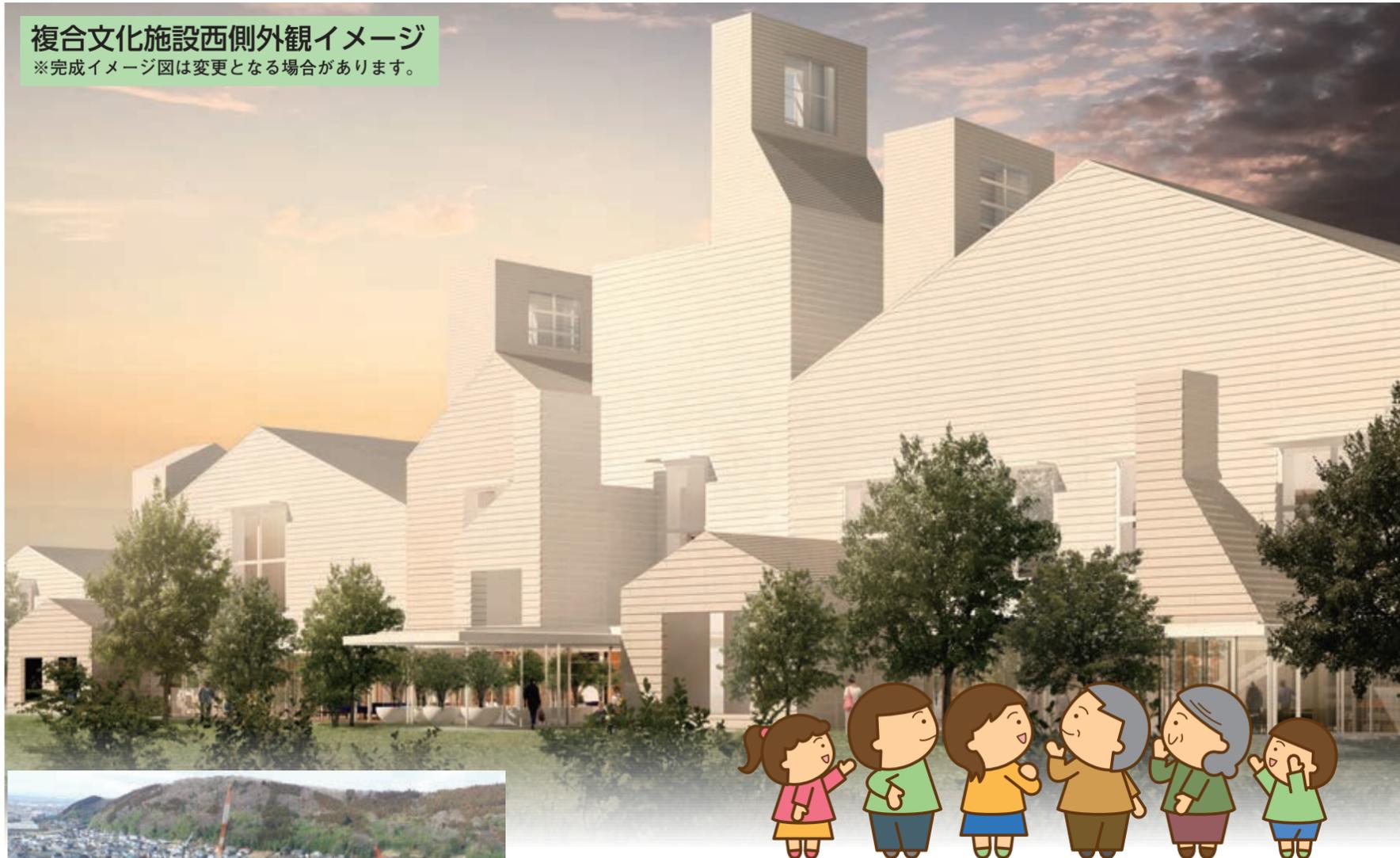
図 石巻駅周辺整備プロジェクト推進室(内線5635)



文化芸術活動拠点 複合文化施設 令和3年3月開館予定

複合文化施設西側外観イメージ

※完成イメージ図は変更となる場合があります。



令和2年1月時点



東日本大震災により被災した市民会館と文化センターに代わる複合文化施設として、開成地区のセイホクパーク石巻(総合運動公園)北側で建設工事が進められています。

館内は、大ホール(1,254席)、小ホール(300席)、美術・歴史資料などの博物館エリア、その他の生涯学習エリアなどで構成されています。

コンサートや演劇などの舞台芸術に加え、講演会、式典などにも対応しており、さまざまな年代の方の心の豊かさを育みながら、文化芸術活動を通じた交流を活性化してまいります。

☎ 複合文化施設開設準備室(内線5071)

国道108号に関するアンケートにご協力ください

～石巻市から山形・秋田へつながる「国道108号石巻河南道路」～

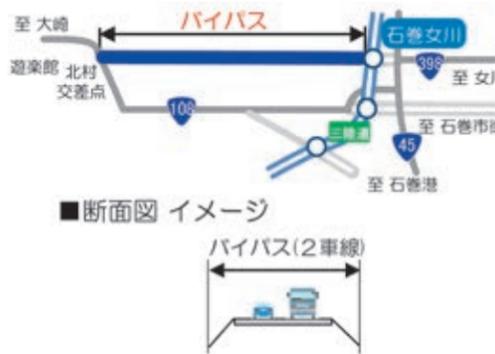
石巻市内の国道108号は、道路の幅が狭く急カーブも多いなどさまざまな課題を抱えています。生活と産業を支える幹線道路としての機能を強化するため、仙台河川国道事務所では「国道108号(石巻河南道路)」の計画検討を進めています。

今回のアンケートは、石巻市にとって効果的なルート案を検討するにあたり、重視すべきことなどについてご意見を伺うものです。この機会に皆様のご意見をぜひお聞かせください。

☎ 国土交通省 仙台河川国道事務所 調査第二課 ☎022-248-0048

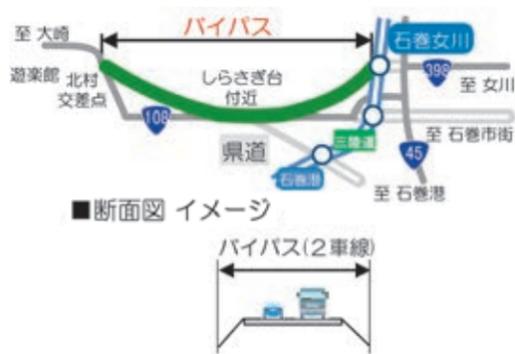
案① 全線バイパス案

三陸道石巻女川ICを起点として、北村交差点付近までの約8kmを2車線バイパスにより整備する案。



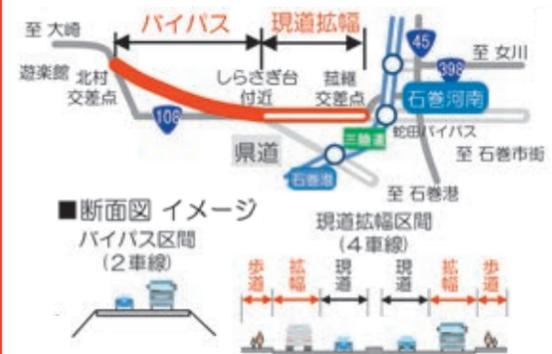
案② 全線バイパス案(港アクセス考慮)

三陸道石巻女川ICを起点として、石巻港からのアクセスを考慮し、しらさぎ台付近を経由して、北村交差点付近までの約9kmを2車線バイパスにより整備する案。



案③ 現道拡幅・バイパス併用案

蛇田バイパス菰継交差点を起点として、しらさぎ台付近までは4車線の現道拡幅を行い、そこから北村交差点付近までは、2車線バイパスにより、合計8kmを整備する案。



回答方法

■返信用はがきによる回答

●「郵便ポスト」もしくは、「回収ボックス」へ^{ようかん}投函を。

※一部のご家庭には、アンケート用紙をお送りしています。

※アンケート用紙は、市役所、各総合支所・支所、県石巻合同庁舎、道の駅上品の郷にも置いています。備え付けの回収ボックスに投函できます。

■インターネットによる回答

●パソコンやスマートフォンでも回答できます。

※「国道108号 石巻河南道路」で検索

※仙台河川国道事務所のホームページにあるバナーをクリック

●右記QRコードからもアクセス可能です。



アンケート回答期限
3月30日(月)まで



地域事情に合わせて 津波避難を考えよう



下釜地区でワークショップ

東日本大震災で津波被害が大きかった下釜地区を対象にした防災ワークショップが2月22日、釜会館で開かれ、住民ら約50人が安全な津波避難について学びました。

下釜第一町内会が主催、石巻震災伝承の会が共催。市が平成27年に各世帯に配布したハザードマップを基に、危機対策課の担当者から津波避難の基本的な考え方を聞きました。

グループごとの意見交換では、避難場所に行くための課題、問題点を洗い出し、町内会として取り組むべき解決策を話し合いました。低地が多い下釜地区では復興住宅などの高層建物が一時避難場所と考えられるため「要介護者の階段昇降などを想定した避難訓練を」「住人らとのコミュニケーションづくりが先決」など地域事情を踏まえた意見が多く出ました。町内会で備蓄している防災グッズも紹介しました。



災害への備え お金の面から考えよう

防災センターで市民講座

自然災害への備えを金銭面から考える講座「知ると役立つ！お金と防災」が2月27日、市防災センターで開かれました。FPオフィスR代表でファイナンシャルプランナーの佐藤龍子さん(塩釜市)を講師に地震、風水害などの被害から生活を立て直すための必要な保険の知識を教わりました。

佐藤さんは、「保険は事前にリスクを予測して、必要なものだけに前もって加入することが大事」と指摘。台風や洪水、土砂崩れ、地震などの自然災害対応の①住宅火災保険②住宅総合保険③地震保険の3種類を紹介し、各保険によって補償対象となる自然災害が異なることを解説しました。それを踏まえ、「備えるべき自然災害は何か」「保険金額をいくにするか」「被災後、何を優先して再建するか」について、平時から家族間で話し合っておくことの大切さも強調しました。

防災センター市民講座の一環として開催され、一般市民ら約20人が聴講しました。聴講した人たちは、自然災害への備えは自分や家族の命を守る準備だけでなく、自宅が被災した場合の生活再建対策も必要なことを痛感していました。



被災後の生活再建に向けた保険の知識を学んだ講座

みんなでつながる石巻の食育

平成31年3月に「第3期石巻市食育推進計画」(令和元年度～5年度)を策定しました。

市民一人ひとりが「食」について意識を高め、自然の恩恵や、「食」に関わる人々のさまざまな活動への感謝の念や理解を深められるよう、家庭、学校、保育所、地域などを中心に食育に取り組み、子どもから大人まで全ての市民が健やかな体と心を育むことを目指すものです。



食習慣と健康 生活リズムを整え、栄養バランスを考えた食事をしよう

食育健康フェスティバル

石巻市民食育健康フェスティバル実行委員会



「つなげよう食と健康、のぼそう健康寿命」というテーマで、市民の健康づくりを推進することを目的に毎年開催しています。

旬の地場産野菜を味わえる試食コーナーや健康〇×クイズなど、さまざまなコーナーをみんなで楽しめます。

食育出前講座

各小学校・健康推進課・各総合支所保健福祉課



市内10校の小学校に食育出前講座を実施し、体のしくみや望ましい食習慣について講話をしました。

「野菜の必要性」や「おやつ選び方」、「何をどれだけ食べたら良いのか」などを考えてもらう機会を作っていきます。

食育に関する体験活動

各保育所・幼稚園



市内の保育所・幼稚園で、栽培活動や調理実習など、食に関するさまざまな体験をしています。

野菜が苦手な子どもも、自分たちで育て、調理することで、喜んで食べられるようになりました。

食文化の継承

石巻の豊かな食を次世代へ伝えよう

石巻産オリーブのPR活動

農林課



東日本大震災の影響で甚大な被害を受けた地域を中心にオリーブほ場を整備し、国内北限の栽培地として商品化する準備をしています。

いしのまき復興マラソンでは、優勝者にオリーブの葉の冠の贈呈をし、オリーブのPRをしました。

米粉と旬の野菜でクッキング!

J A いしのまき女性部



石巻産米粉を使用し、みたらし団子とクレープを親子で作りました。地域の食材で健康的なおやつを作り、食べることの大切さを伝えます。

中学生のためのお魚料理教室

水産課



魚食普及の推進と水産業への理解を深めてもらうことを目的に、昭和63年から継続して取り組んでいる事業です。

食材は、地元で水揚げされた旬の魚を使用し、最初は魚に触れることに抵抗があった生徒も、上手にさばけるようになり、楽しみながら取り組むことができました。

石巻の

「すこやかな体と心を育む豊かな食」を

未来へつなごう

6次産業化・地産地消推進助成金

商工課



石巻産農林水産物を活用した新商品の開発や販路拡大などの支援を行っています。

今年開催された宮城県水産加工品品評会で助成金を活用して商品化した「牡蠣の贅沢ソース2019」が農林水産大臣賞を受賞しました。

研修会

石巻市食生活改善推進員連絡協議会



定期的研修会では、食品、食材を選択する力を身に付けるため、栄養成分表示について学んだり、衛生管理を意識しながら、地場産物を積極的に取り入れた野菜たっぷりメニューを自分たちで考え、調理しています。

食の安全・安心

石巻の安全・安心な食生活を実現しよう

「鯨食の文化」普及講習会

宮城県漁業協同組合女性部



宮城県水産高等学校で鯨料理の調理実習をしました。

戦後日本人の貴重なタンパク源であった鯨肉の食文化を学び、また実際に調理し、石巻の鯨文化を推進します。

親子でつくろう、食べよう鯨料理

鮎川小学校



牡鹿鮎川地区はかつて全国屈指の捕鯨の街であり、鯨食文化を継承するため、親子で調理実習しました。

子どもたちの魚離れを改善し、地元の産業について関心を高めます。

地産地消 石巻の豊かな食を知り、みんなで味わおう

石巻市食育推進キャラクター



さばまっき

しょっぱいものは控えめに!

いっぱい増やそう! 野菜料理



こねまっき

飲み物選びは気をつけよう!



とまとまっき

健康推進課(内線2617)

申請はお早めをお願いします

被災者生活再建支援金

東日本大震災で被災した方の生活再建を支援するため、住宅の再建方法に応じて加算支援金が支給されます。

対象 り災証明書が大規模半壊以上で住宅再建(建設・購入、補修、賃借)の契約が済んでいる世帯
 ※賃借に関しては公営住宅を除く。
 ※申請、受給済みの世帯の方は申請できません。

支給額	住宅の再建方法	建設・購入	補修	賃借(公営住宅以外)
複数世帯支給額		200万円	100万円	50万円
単身世帯支給額		150万円	75万円	37.5万円

必要書類

- 被災者生活再建支援金支給申請書
- り災証明書、身分証明書
- 預金通帳の写し(※申請者(世帯主)の名義、銀行名、支店名、預金種目、口座番号の記載があるもの)
- 契約書などの写し

※賃借 震災以前からの契約の場合は、公共料金の領収書を添付してください。
 ※補修 「工事契約書」または「見積書と領収書」または「請求書と領収書」の工事内容がわかるいずれかを添付してください。
 ※申出書、り災証明書の世帯主との関係性が分かる書類の提出をお願いする場合があります。

申請期限 令和2年4月10日

<注意事項>

- 自己所有の住宅に限らず、借家やアパートなどの賃貸住宅に居住の場合も対象となります。
- 単身世帯の方が支給を受ける前(申請後を含む)に亡くなられた場合は、支給されません。
- 加算支援金の申請は補修から建設・購入への変更は原則できません。

☎・☎ 生活再建支援課(内線4764)

住宅再建事業補助金

東日本大震災で被災した住宅の早期復興のため、住宅を再建する方に住宅再建費用の一部を補助します。

対象

- り災判定が「全壊」、「大規模半壊」または「半壊」の判定を受けた住宅、または東日本大震災時に災害危険区域にある住宅に自己または親族が居住していた方
- 市内(災害危険区域で被災した方は市外でも可)に、被災住宅に代わる住宅の建設・購入した方、または被災住宅の補修をした方(他市町村で被災し、市内に住宅再建した場合を含む)
- 防災集団移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業の対象とならない方、またはこれらの事業の補助金額が本事業の補助金額に満たない方
- 市区町村税などに滞納がない方
- 暴力団員でない方

補助内容

住宅の再建方法	建設・購入	補修
利子補給	上限444万円	上限150万円
取得費用補助	上限250万円	上限100万円

申請期限 令和3年2月15日



☎・☎ 生活再建支援課(内線4765)

福祉まるごと相談窓口にご相談ください

☎ 電話相談可

高齢の親と無職の子が同居している、親の介護と子育てが重なり大変など、どこに相談したらいいかわからないとき、相談しても変わらず困っているときは、一人で悩まずご相談ください。

相談員が寄り添いながら、問題解決の方法と一緒に考え、さまざまな関係機関につなぐなど、円滑な解決を目指します。

相談は本人以外の周囲の方からも受け付けています。

受付時間 午前8時30分～午後5時
(土日・祝日を除く)

開設場所 市役所2階 包括ケアセンター



☎ 包括ケアセンター(内線2575)

相談支援の流れ

まずはご相談ください

困りごとの整理をします

問題解決の方法を一緒に考えます

関係機関と一緒に考えます

問題解決へ



石巻市役所 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1
 ☎ 0225-95-1111 FAX 0225-22-4995
 開庁時間 午前8時30分～午後5時
 ホームページ <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

市報いしのまき 復興特集号 令和2年3月15日発行

発行 石巻市総務部秘書広報課(内線4784) FAX 0225-23-4340
 編集/制作 三陸河北新報社

市のホームページを携帯やスマホでも見られます



※機種によってはアプリが必要な場合があります。
 ※通信料金がかかります。
 ☎ 秘書広報課(内線4024)



電話番号案内

市役所 ☎95-1111
 雄勝総合支所 ☎57-2111
 桃生総合支所 ☎76-2111
 牡鹿総合支所 ☎45-2111
 稲井支所 ☎95-2171
 蛇田支所 ☎95-1442

河北総合支所 ☎62-2111
 河南総合支所 ☎72-2111
 北上総合支所 ☎67-2111
 渡波支所 ☎24-0151
 荻浜支所 ☎90-2111